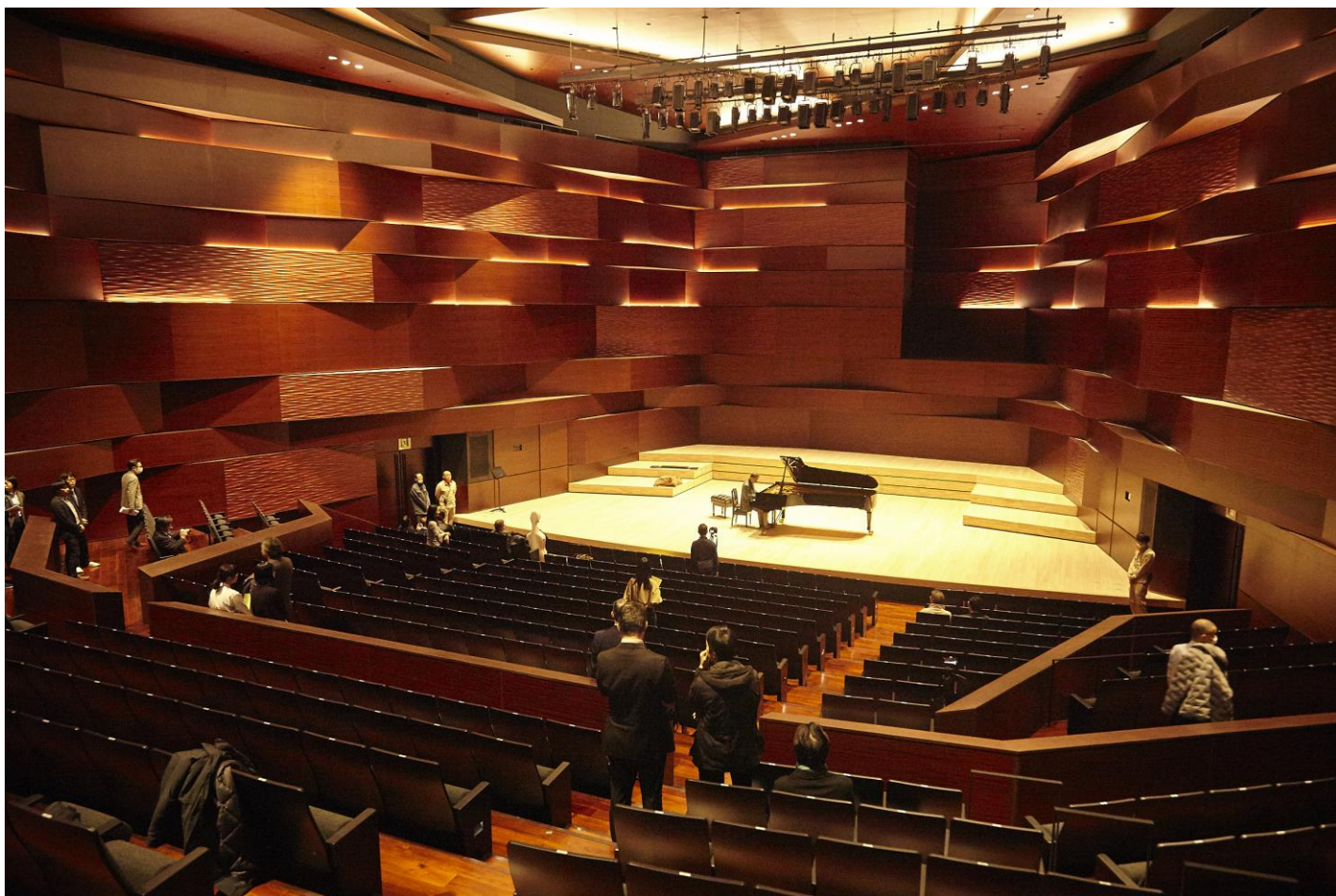


中目黒・代官山キャンパス「TCM ホール」で試奏会、 最高の音響環境と格調の高いデザインを絶賛する声

2018/12/26



12月26日、本学中目黒・代官山キャンパス「TCM ホール」の最終仕上げに向けて、野島稔学長をはじめ、ピアノ、声楽、弦・管楽器の教授陣が試奏をしました。「TCM ホール」はホール内のすべてがよい音のために設計され、最適な響きで演奏・鑑賞することができる新キャンパスの象徴の一つです。試奏の結果、ホール後部の反響パネルを反射タイプと決定し、「TCM ホール」は満を持して、いよいよ完成を迎えます。

試奏会には、各専攻から大勢の教員が来聴したばかりでなく、目黒区芸術文化振興財団の清水美知雄理事長ら来賓も参席され、新ホールに向けられる期待の高さが伺えました。

高い天井と広いステージ、木を基調としたデザインに、「ゆったりとして落ち着いた空間、格調の高いホール」と野島稔学長が満足した表情を浮かべました。また、音響に関して、「ソロ演奏では豊かな音の広がりを実感でき、全体的な響きのバランスが素晴らしい」と広上淳一指揮教授が絶賛するなど、響きのよさに感動する声が続々と寄せられました。

設計を担当した日建設計の高野勝也さんは、「音に包まれるようなデザインを目指しました。壁に凹凸をつけたり、天井にも少し段差をつけました。シンメトリーではなく、音が回っていくようなイメージでデザインしました。高評価をいただいて、大変うれしく思います」とほっとした様子でした。

新ホールでは、学生による演奏はもちろんのこと、地域の方々にも来ていただける様々な演奏会が多数開催される予定です。「TCM ホール」からどんな発信が今後できるのか、期待に胸が膨らんだ試奏会でした。

《試奏した教授陣の感想》

■ピアノ 野島稔学長

ホールに入ってぱっと瞬間感じたことですが、ゆったりとしている空間で、落ち着いて演奏を聴ける雰囲気だと思いました。大変よいでき栄えに満足しています。ピアノも他の楽器も、音響にムラがなく、すべて上質の音を味わえるような気がしました。

■ピアノ 石井克典教授

池袋の100周年記念ホールとはまったく違ったおもむきのすばらしい音響ですね。音がクリアで混ざらないけれど、ミックスしたよい響きです。年月を経て、ホールがどう変化していくかが楽しみです、今日はソロで演奏しましたが、室内楽やコンチェルトの演奏も楽しみです。

■ピアノ 岡田敦子教授

適度に響きがあって、自分で弾いていてもデッドではなくて、細かいところまで聴こえるのでとても弾きやすいと思います。弾いている感じと聴いている感じがあまり変わらないのではないのでしょうか。

■チェロ ドミトリー・フェイギン教授

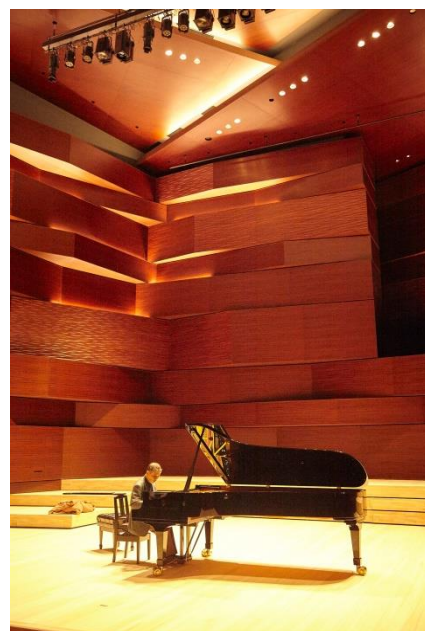
響きがよくて、弾きやすかったですね。弦楽器の演奏にちょうどいい大きさの、すばらしいホールだと思います。

■クラリネット 四戸世紀教授

すごいホールですね。室内楽にうってつけの音響環境だと思います。音を拡散させずに、まとめてくれますか、演奏を助けてくれるホールだと思います。

■声楽 釜洞祐子教授

今日ソロで歌ってみましたが、よく響く、ちょうどいい大きさのホールに感じます。ここで合唱をしたらどんな風に響くんだろう、楽しみです。



《来聴した先生の感想》

■指揮 広上淳一教授

非常によいホールになったと思います。今日試奏した、クラリネット、チェロ、声楽などソロ演奏では豊かな音の広がりを実感できましたし、ピアノもよかったです。全体的な響きのバランスが素晴らしい。学生にいっぱい使ってもらって、ホール内装の木（材）に音を吸収してもらってどんどんよい音に変化して行ってほしいと思います。リサイタルでも使っていただいて、マネジメントや外部にも紹介したらいいと思います。

■鈴木勝利理事長

約 400 名収容のホールながら、実際入ってみて、800 名規模のホールに感じられるゆったりした空間で満足しています。天井が高くて、座席もゆったりしているので、くつろいで音楽を楽しめると思います。

